

## 決意

就任以来16年、市民に開かれた「希望と信頼の市政」を基本理念に、都市の「持続的な成長」と「小さくともキラリと輝くまち」をめざし、挑戦を続けてきました。

この間、人口減少・少子高齢社会の進展、スマート社会への移行、国際的な経済不況や未曾有の感染症ショックなどの激動する時代にあって、市民の皆さんの協力で乗り越え、着実な歩みを刻んでいくことが出来ました。新市施行から20年の節目を迎えた今、これまでの歩みを礎に、新しい挑戦が求められています。私たちは、地域共生社会の実現、都市活力の創造、DX・レジリエンスの強化、財政の構造改革などの目の前の政策課題を克服すると同時に、長期的な展望を踏まえた、明るい未来への基盤づくりを急がなければなりません。

誰もが健やかに暮らし幸福実感へとつながる「緑の健都」への歩みを、今ここで止めることはできません。今を生きる一人として「分度・推譲」の精神に基づき、今一度、本市の分度を定め未来へ繋げる道筋をつけることが、我が使命と考えるものです。

私たちが愛する・亀山市には、まだまだ成長の可能性と多くの魅力があります。恵まれた地域資源に磨きをかけ、子や孫、その先の世代へと継承するために。私は、ここに『NEXT亀山 緑の八策ver.2』を掲げ、その実現へ、全力を傾注する覚悟です。

桜井  
義之



# 8つの重点政策

## 一策

### 「開かれた市政」にこだわる！

就任以来、希望と信頼の「開かれた市政」を基本理念に、情報共有、参画協働のまちづくりを進めてきました。新市施行20年の歩みを礎に、次なるステージには、新しい総合計画の立案と公開参画・市民協働の新しい仕組みへのアップデートが必要。急速に進展するDX(デジタル技術)を活用し、書かない窓口やオンライン手続きの拡充、行政経営の効率化・透明化を積極的に進めます。

- 市民参画による次期の総合計画の策定
- DX活用による、行政経営の効率化・透明性の向上
- 書かない窓口、オンライン手続きの拡充
- 郵便局との協働など、PPP手法による公民連携の拡大
- シビックプライドの向上へ、「亀山市まちづくり基本条例」の改正
- 市民の多様な声の分析、住民参加に生成AIなどの導入
- 「キラリまちづくりトーク」×「市民ワークショップ」による市民対話
- 市職員に自信と誇りを!

## 二策

### 「子ども」の笑顔と心を育む！

まちが明るい未来に向かうため、子どもたちの笑顔や子育てを支える環境・風土が大切です。近年、虐待・貧困など複雑化した課題への包括的支援、不登校支援や個別最適な学びに対応できる教福連携の環境づくりを継続・充実します。一方、民間給食センターと連携した「中学校全員喫食制給食」の実現、学校・幼保施設の計画的な改修、特別教室への空調設備の整備などを進めます。

- 誰ひとり取り残さない学びの環境づくり
- 令和8年春、中学校の「全員喫食制給食」の開始、小学校の自校方式の堅持
- 学校・幼保施設の老朽化対策の推進、特別教室等への空調設備100%の整備
- 子どもの生きる力を育む、読書活動・デジタル活用・体験活動の充実
- 「こども家庭センター」×「子育てコンシェルジュ」のワンストップ相談
- 物価高騰による保護者負担の軽減のため、学校給食費等の支援
- 不登校児童生徒のサポート・選択肢の充実、県立夜間中学通学への財政支援
- 新児童センターの開設、児童発達支援センターの設置支援